

小学校第3学年 単元別確認テスト 1

単元名 [九九の表とかけ算 (啓林館)] [かけ算 (東京書籍)]	①~③ (/ 3) 知識・理解	④⑤ (/ 2) 技能	⑥~⑧ (/ 3) 考え方	得点 (/ 8)
3年 ()組 ()番 名前 ()				

○ にあてはまる数をかきましょう。

① 6×5 は、 6×4 より 大きい。

② $4 \times 7 =$ $\times 4$

③ どんな数に 0 をかけても 答えは になります。

〔①~③知識・理解〕

○ 次の計算をしましょう。

④ $9 \times 10 =$

⑤ $0 \times 6 =$

〔④⑤技能〕

○ 次の問いに、答えましょう。

⑥ まりこさんは、いつも、7のだんの九九の 7×6 をまちがえてしまいます。しかし、 7×7 はとくいで、49と正しく答えることができます。

そこで、たかしさんは、「 7×6 の答えを見つけるには、 7×7 を使うといいよ。」といました。

たかしさんの考えをつかって、正しい答えをだすには、どのようにすればよいでしょう。ことばや式を使ってせつめいしましょう。

○ かおるさんは、 15×3 の答えをもとめるときに、2つのかけ算にわけて、考えました。次の問いに、答えましょう。

⑦ かおるさんは、図のどこにせんをひいて、答えを考えたいでしょう。下の【かおるさんの考え】をもとにして、図の中にせんをひきましょう。

【図】

○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○

【かおるさんの考え】

15×3

{

$7 \times 3 =$

}

$\times 3 =$

あわせて

⑧ 右上の【かおるさんの考え】の中の にあてはまる数をかきましょう。

〔⑥~⑧考え方〕

小学校第3学年 単元別確認テスト1 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単 元 名		〔1 九九の表とかけ算（啓林館P6～P15）〕〔1 かけ算（東京書籍P6～P21）〕							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(3) 乗法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。 ア 2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算の仕方を考え、それらの計算が乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。 イ 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。 ウ 乗法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。							
問題番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	乗数が1増えると、被乗数の数だけ増えるという乗法のきまりを理解している。	6			○		○		80%
②	かけ算の交換法則を理解している。	7			○		○		90%
③	乗数が1減ると、被乗数の数だけ減るとい乗法のきまりを理解している。	0			○		○		90%
④	(1位数) × 10の計算が確実にできる。	90		○			○		90%
⑤	乗数が0の場合の乗法の計算が確実にできる。	0		○			○		90%
⑥	乗数が1減ると、積は被乗数の数だけ減るとい乗法のきまりを使って、求め方を説明することができる。	7のだけは、かける数が1減ると7減るので、 $7 \times 7 = 49$ をもとにすると、 7×6 は49から7減るので42になる。	○					○	70%
⑦	式から分割の仕方を考えることができる。		○					○	70%
⑧	被乗法が10を超える乗法を分配法則を使って考えることができる。	21 8 24 45	○					○	70%
合 計 8 問			3	2	3	0	6	2	81%

小学校第3学年 単元別確認テスト2 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単元名		〔2 わり算（啓林館P16～P26）〕〔4 わり算（東京書籍P38～P50）〕							
〈学習指導要領〉		(4) 除法の意味について理解し、それを用いることができるようにする。 ア 除法が用いられる場合について知ること。また、余りについて知ること。 イ 除法と乗法や減法との関係について理解すること。 ウ 除数と商が共に1位数である除法の計算が確実にできること。							
A 数と計算									
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	除法と乗法の関係を理解している。	3			○		○	90%	
②	(2位数) ÷ (1位数) の除法が確実にできる。	4		○			○	90%	
③	乗法の計算をもとに、(2位数) ÷ (1位数) の除法が確実にできる。	7		○			○	90%	
④	乗法の計算をもとに、(2位数) ÷ (1位数) の除法が確実にできる。	6		○			○	90%	
⑤	被除数と除数が同数の除法が確実にできる。	1		○			○	90%	
⑥	被除数が0の除法が確実にできる。	0		○			○	90%	
⑦	問題文から除法（等分除）と加法の場面を読み取り、除法と加法を使った計算式を考えることができる。	$35 \div 5 = 7$ $7 + 2 = 9$ 9こ	○				○	70%	
⑧	問題文から条件に合う問題（等分除の問題）を考え、当てはまる数字や言葉を導くことができる。	3こ 何人	○				○	70%	
⑨	問題文から条件に合う問題（包含除の問題）を考え、当てはまる数字や言葉を導くことができる。	3人 1人分	○				○	70%	
⑩	問いの条件に合う除法の問題を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 32枚の色紙があります。8人に同じ数ずつ分けると、1人分は何枚になるでしょう。（等分除の問題） ・ 32枚の色紙があります。1人に8枚ずつ分けると、何人に分けられるでしょう。（包含除の問題） ・ 赤の色紙が32枚、青の色紙が8枚あります。赤の色紙は青の色紙の何倍でしょう。（倍を求める問題） 	○				○	70%	
合 計 10 問			4	5	1	0	9	1	82%

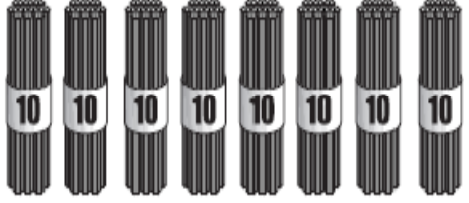
小学校第3学年 単元別確認テスト 3

単元名	[わり算(啓林館)] [大きい数のわり算(東京書籍)]	① (/1) 知識・理解	②~⑤ (/4) 技能	⑥⑦ (/2) (/7) 考え方	得点
3年 ()組 ()番 名前 ()					

- 次の問いに答えましょう。
① はなさんは、 $80 \div 4$ の計算のしかたを、次のように考えました。()にあてはまる数をかきましょう。

【 $80 \div 4$ の計算のしかた】

$80 \div 4$ をするとき、
まず、80を10が()こと、考えます。
そうすると、式は $8 \div 4$ と、かんたんになります。
式の答えは、2です。
しかし、この2は()が2こ、という意味なので、
 $80 \div 4$ の答えは、()になります。



[①知識・理解]

- 次の計算をしましょう。

② $80 \div 8 =$ ③ $66 \div 6 =$

④ $48 \div 2 =$ ⑤ $93 \div 3 =$

[②~⑤技能]

- 次の問いに答えましょう。

- ⑥ 4こで84円のあめがあります。あめ1こ分は何円ですか。

式

答え

- ⑦ ひろしさんは、 $96 \div 3$ の計算のしかたを次のようにせつめいしました。しかし、ひろしさんのせつめいにはまちがいががあります。
 $96 \div 3$ の計算のしかたを正しくせつめいしましょう。

(ひろしさんのせつめい)

$96 \div 3$ の計算は、
まず、96を9と6に分けます。
次に、それぞれを3でわります。
 $9 \div 3 = 3$
 $6 \div 3 = 2$
さいごに、それぞれの答えを合わせます。
 $3 + 2 = 5$
 $96 \div 3$ の答えは5になります。

➔

(せつめい)

[⑥⑦考え方]

小学校第3学年 単元別確認テスト3 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

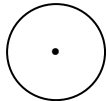
単元名		[2 わり算 (啓林館P27~P28)] [10 大きい数のわり算 (東京書籍P112~P113)]							
〈学習指導要領〉		(4) 除法の意味について理解し、それをを用いることができるようにする。							
A 数と計算		エ 簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数である除法の計算の仕方を考えること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	被除数が何十で、被除数の十の位が除数で割り切れる計算の仕方を理解している。	8, 10, 20			○		○	80%	
②	被除数が何十で、被除数の十の位が除数で割り切れる計算ができる。	10		○			○	90%	
③	被除数が何十で、被除数の十の位が除数で割り切れる計算ができる。	11		○			○	90%	
④	被除数が2位数で、十の位と一の位がそれぞれ除数で割り切れる計算ができる。	24		○			○	90%	
⑤	被除数が2位数で、十の位と一の位がそれぞれ除数で割り切れる計算ができる。	31		○			○	90%	
⑥	問題文から(2位数)÷(1位数)の式を考え、答えを導くことができる。	84÷4=21 21円	○				○	80%	
⑦	(2位数)÷(1位数)の計算の仕方を説明することができる。	96÷3の計算は、 まず、96を90と6に分けます。 次に、それぞれを3でわります。 90÷3=30 6÷3=2 最後に、それぞれの答えを合わせます。 30+2=32 96÷3の答えは32になります。	○				○	70%	
合計 7 問			2	4	1	0	6	1	84%

小学校第3学年 単元別確認テスト 4

単元名〔円と球（啓林館）〕〔円と球（東京書籍）〕〔円と球（学校図書）〕	①～③ (/ 3) 知識・理解	④⑤ (/ 2) 技能	⑥～⑩ (/ 5) 考え方	得点 (/ 10)
3年()組()番 名前()				

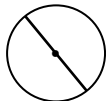
○ 次の問題に答えましょう。

① 円のまん中の点は、なんというでしょう。



はんけい

② 直径12cmの円の半径は何cmでしょう。



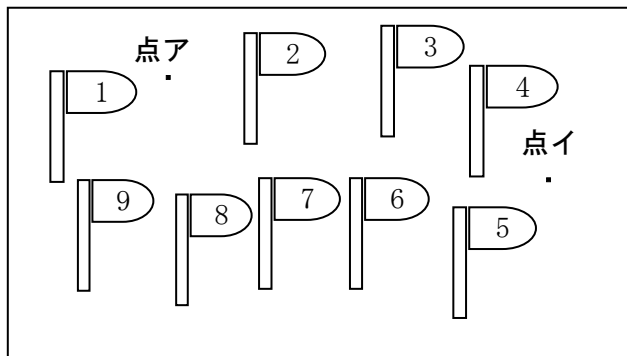
③ 球をまっすぐに切った切り口は、どのような形でしょう。

〔①～③ 知識・理解〕

ちよっけい

④ 直径6cmの円を、テストのうらにかきましょう。

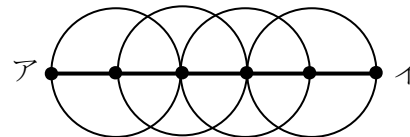
⑤ たからさがしの絵があります。たからは、点アから3cm、点イから4cmはなれたはたの下にあります。何番のはたの下にあるか、コンパスを使って見つけましょう。





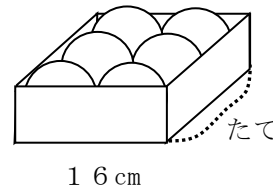
〔④⑤ 技能〕

⑥ 直径4cmの円を、下の図のようにならべました。それぞれのまん中の点が直線の上に来て、それぞれの円が、となりの円の真ん中の点をとっています。この時、点アから点イまでの長さは、何cmになるでしょう。



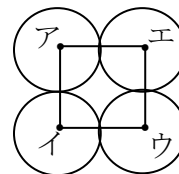
○ 下の図形について答えましょう。

⑦ 同じ大きさのボールがぴったりと箱に入っています。このボールの半径は何cmでしょう。



⑧ この箱のたての長さは何cmでしょう。

⑨ 半径5cmの円を下図のようにならべ、それぞれの円のまん中の点ア・イ・ウ・エをむすぶと正方形ができます。この正方形の中にぴったり入る円の直径は何cmでしょう。



⑩ ⑨で答えたわけを、式やことばを使ってせつめいしましょう。

〔⑥～⑩ 考え方〕

小学校第3学年 単元別確認テスト4 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単元名		[3 円と球 (啓林館P34~P43)] [13 円と球 (東京書籍下P34~P45)]							
〈学習指導要領〉		(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できるようにする。							
C 図形		ウ 円, 球について知ること。また, それらの中心, 半径, 直径について知ること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	円の構成要素について理解している。	(円の) 中心			○		○		90%
②	円の直径と半径の関係を理解している。	6 cm			○		○		90%
③	球の特徴を理解している。	円			○		○		90%
④	コンパスを使って, 円をかくことができる。	省略		○				○	90%
⑤	コンパスを使って, 長さを測りとることができる。	7番		○		○			80%
⑥	円の直径と半径の関係をを使って答えを考えることができる。	10 cm	○				○		70%
⑦	球の直径と半径の関係をを使って答えを考えることができる。	4 cm	○				○		70%
⑧	球の直径をもとに答えを考えることができる。	24 cm	○				○		70%
⑨	円の中心・直径・半径の関係をを使って答えを考えることができる。	10 cm	○				○		70%
⑩	⑨の答えを導き出した考え方を説明することができる。	正方形の1辺の長さは, 円の半径2個分だから $5 \times 2 = 10$ で, 10 cm。正方形の1辺の長さと同じから, 正方形の中に入る円の直径は, 10 cmとなる。	○					○	70%
合 計 10 問			5	2	3	1	7	2	79%

小学校第3学年 単元別確認テスト⑤

単元名〔たし算とひき算の筆算(啓林館)〕 〔たし算とひき算の筆算(東京書籍)〕	①② (/ 2) 知識・理解	③～⑥ (/ 4) 技能	⑦⑧ (/ 2) 考え方	得点 (/ 8)
3年 () 組 () 番 名前 ()				

○ 次の () にあてはまる言葉を、【一、十、百】の中からえらんでかきましょう。

① たし算やひき算の筆算は、けた数が多くなっても、位をそろえて、() の位からじゅんに計算する。

②
$$\begin{array}{r} 306 \\ - 164 \\ \hline \end{array}$$
 左の筆算は、十の位が0だから、() の位からくり下げて計算する。

〔①②知識・理解〕

○ 次の計算をしましょう。

③
$$\begin{array}{r} 243 \\ + 475 \\ \hline \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 1837 \\ + 2365 \\ \hline \end{array}$$

⑤
$$\begin{array}{r} 200 \\ - 93 \\ \hline \end{array}$$

⑥
$$\begin{array}{r} 7306 \\ - 5464 \\ \hline \end{array}$$

〔③～⑥技能〕

○ 次の問題を読んで、答えましょう。

⑦ よしこさんが、1525円のえんぴつけずりと、580円のふでばこを買って、3000円はらいました。おつりはいくらになるでしょう。筆算もかきましょう。
式

答え ()

⑧ ただしさんとなおさんは、たし算の問題づくりゲームをしています。答えもふくめて、ちがう数字が多い方が、勝ちというゲームです。

たとえば $234 + 301$ では

$$\begin{array}{r} \boxed{2} \boxed{3} \boxed{4} \\ + \boxed{3} \boxed{0} \boxed{1} \\ \hline \boxed{5} \boxed{3} \boxed{5} \end{array}$$

0, 1, 2, 3, 4, 5の6種類しゅるいの数字があるので、とく点は6点ということになります。

とく点が8点になる問題を作りましょう。

$$\begin{array}{r} \square \square \square \\ + \square \square \square \\ \hline \square \square \square \end{array}$$

〔⑦⑧考え方〕

小学校第3学年 単元別確認テスト5 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単 元 名	〔4 たし算とひき算の筆算(啓林館P54~P66)〕〔5 たし算とひき算の筆算(東京書籍P52~P61)〕								
〈学習指導要領〉 A 数と計算	(2) 加法及び減法の計算が確実にできるようにし、それらを適切に用いる能力を伸ばす。 ア 3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算が2位数などについての基本的な計算を基にしてできていることを理解すること。また、それらの筆算の仕方について理解すること。 イ 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。 ウ 加法及び減法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。								
問題番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	選 択 式	短 答 式	記 述 式	
①	筆算の計算では一の位から順に計算するということを理解している。	—			○	○			90%
②	くり下がりのある減法の筆算の計算の仕方を理解している。	百			○	○			90%
③	(3位数) + (3位数) で、繰り上がりが1回の筆算ができる。	718		○			○		80%
④	(4位数) + (4位数) で、波及的に繰り上がる筆算ができる。	4202		○			○		80%
⑤	(3位数) - (2位数) で、繰り下がりが2回の筆算ができる。	107		○			○		80%
⑥	(4位数) - (4位数) で、空位の位があり、繰り下がりが2回の筆算ができる。	1842		○			○		70%
⑦	問題文から、加法と減法の式を考え、筆算で答えを求めることができる。	$\begin{array}{r} 1525 + 580 = 2105 \\ 3000 - 2105 = 895 \\ \text{筆算は省略} \\ 895 \text{円} \end{array}$	○				○		70%
⑧	条件に合う加法の筆算の問題を考えることができる。	(例) $\begin{array}{r} 123 \\ + 456 \\ \hline 579 \end{array}$	○				○		70%
合 計 8 問			2	4	2	2	6	0	79%

小学校第3学年 単元別確認テスト **6**

単元名 [一億までの数 (啓林館)] [大きい数のしくみ (東京書籍)]
3年 () 組 () 番 名前 ()

○ 次の数を数字でかきましょう。

① 七万五千三百八十四

② 千万を6こ，百万を9こ，一万を2こあわせた数

③ 千万を10こ集めた数

【①～③知識・理解】

○ 次の数をかきましょう。

④ 520を100倍して，10でわった数

○ □にあてはまる，等号または不等号をかきましょう。

⑤ $2000 + 8000$ □ 9000

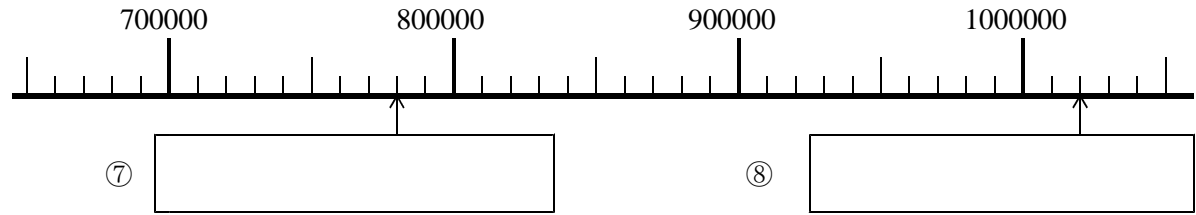
○ 大きい数からじゅんにならべて，左からかきましょう。

⑥ 976850, 1047000, 99900, 118600

--	--	--	--

①～③ (/ 3) 知識・理解	④～⑧ (/ 5) 技能	⑨⑩ (/ 2) 考え方	得点 (/ 10)
------------------------	---------------------	---------------------	---------------

○ ⑦⑧にあたる数をかきましょう。



【④～⑧技能】

○ 次の問題に答えましょう。

⑨ 3870×10 の答えのもとめ方をせつめいします。□の中にあてはまる数をかきましょう。

$3000 \times$	<input type="text"/>	$=$	<input type="text"/>	} あわせると	<input type="text"/>
$800 \times$	<input type="text"/>	$=$	<input type="text"/>		
$70 \times$	<input type="text"/>	$=$	<input type="text"/>		
					になります。

⑩ 次のような8まいのカードがあります。このカードをぜんぶならべて，8けたの数をいろいろつくります。いちばん小さい数をこたえましょう。

0	0	2	2	4	4	8	8
---	---	---	---	---	---	---	---

【⑨⑩考え方】

小学校第3学年 単元別確認テスト6 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[5 一億までの数(啓林館P68~P81)] [8 大きい数のしくみ(東京書籍P80~P92)]									
〈学習指導要領〉		(1) 整数の表し方についての理解を深め, 数を用いる能力を伸ばす。									
A 数と計算		ア 万の単位について知ること。 イ 10倍, 100倍, 1/10の大きさの数及びその表し方について知ること。 ウ 数の相対的な大きさについての理解を深めること。									
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率		
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式			
①	一万をこえる数について, その表し方を理解している。	75384			○		○		90%		
②	一万をこえる数の構成を理解している。	69020000			○		○		90%		
③	一億の意味を理解している。	100000000			○		○		90%		
④	100倍して10で割った数を表すことができる。	5200		○			○		90%		
⑤	等号, 不等号を使って, 数や式の大小を表すことができる。	>		○			○		90%		
⑥	一万をこえる数の大きさを比べることができる。	1047000, 976850, 118600, 99900		○		○			80%		
⑦	線分図に表された一万をこえる数を読み取ることができる。	780000		○			○		80%		
⑧	線分図に表された一万をこえる数を読み取ることができる。	1020000		○			○		80%		
⑨	10倍する計算の仕方を考えることができる。	3000×10=30000, 800×10=8000, 70×10=700 あわせると 38700 (完答)	○				○		80%		
⑩	各位に配置する数字に基づき, 条件に合う数を考えることができる。	20024488	○				○		70%		
合 計			10	問	2	4	3	1	9	0	84%

小学校第3学年 単元別確認テスト 7

単元名 [たし算とひき算 (啓林館)] [暗算 (東京書籍)]	①② (/ 2) 知識・理解	③~⑥ (/ 4) 技能	⑦~⑨ (/ 3) 考え方	得点 (/ 9)
3年 ()組 ()番 名前 ()				

○ にあてはまる数をかきましょう。

① $27 + 56$ の暗算は、 27 に 50 をたして

これに 6 をたして です。

② $43 - 18$ の暗算は、 43 から 10 をひいて

これから 8 をひいて です。

〔①②知識・理解〕

○ 暗算で計算しましょう。

③ $19 + 35 =$

④ $87 + 69 =$

⑤ $78 - 43 =$

⑥ $100 - 52 =$

〔③~⑥技能〕

⑦ みさきさんの学校の3年生は、男子が58人、女子が65人です。3年生は、全員で何人でしょう。

式

答え

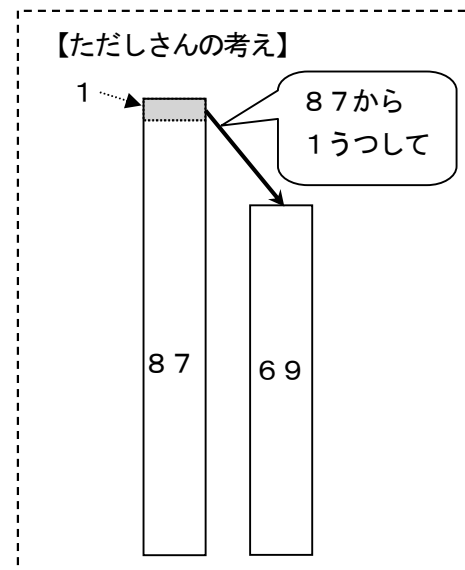
⑧ まさとさんは、92ページの本を読んでいます。きょうまでに、64ページ読みました。のこっているのは、何ページでしょう。

式

答え

○ 次の問題に答えましょう。

⑨ ただしさんは、「 $87 + 69$ の計算は、下の図を使って $86 + 70$ と考えれば、かんたんにできる。」といいました。



ただしさんの考えをつかって $56 + 79$ の計算の仕方をせつめいしましょう。

〔⑦~⑨考え方〕

小学校第3学年 単元別確認テスト7 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単 元 名		〔6 たし算とひき算（啓林館P84～P85）〕〔6 暗算（東京書籍P64～P66）〕							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(2) 加法及び減法の計算が確実にできるようにし、それらを適切に用いる能力を伸ばす。 ア 3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算が2位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、それらの筆算の仕方について理解すること。							
問題番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	選 択 式	短 答 式	記 述 式	
①	(2位数) + (2位数) の暗算の仕方を理解している。	77 83			○		○		90%
②	(2位数) - (2位数) の暗算の仕方を理解している。	33 25 (43から20をひいて、2をたす方法も考えられる)			○		○		90%
③	(2位数) + (2位数) で、一の位が繰り上がる暗算をすることができる。	54		○			○		90%
④	(2位数) + (2位数) で、一の位も十の位も繰り上がる暗算をすることができる。	156		○			○		80%
⑤	(2位数) - (2位数) で、繰り下がりのない暗算をすることができる。	35		○			○		90%
⑥	100 - (2位数) の暗算をすることができる。	48		○			○		90%
⑦	問題文から (2位数) + (2位数) の式を考え、答えを導くことができる。	58 + 65 = 123 123人	○				○		80%
⑧	問題文から (2位数) - (2位数) の式を考え、答えを導くことができる。	92 - 64 = 28 28ページ	○				○		80%
⑨	(2位数) + (2位数) の計算で、一方から1移すことで、簡単に計算できる方法について説明することができる。	56から1とって、その1を79にうつして 55 + 80と考えて計算する。	○					○	70%
合 計 9 問			3	4	2	0	8	1	84%